

議会だより おかがき

No.88 3月定例会 平成24年5月10日発行

安全と安心のまちづくりを目指して ● 2～4

平成24年度一般会計予算 総額91億7,400万円【昨年85億5,000万円】

町政を問う ● 9～12

一般質問

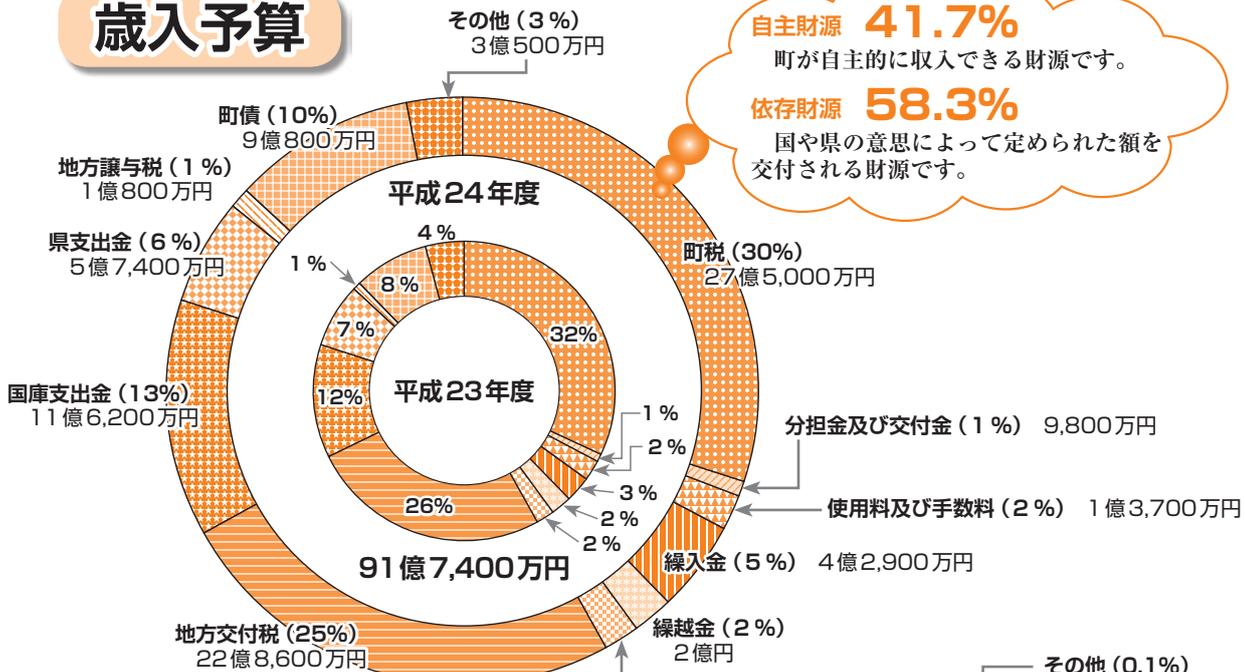


安全と安心のまちづくりを目指して

平成24年度一般会計予算 総額91億7,400万円 【昨年85億5,000万円】

3月定例会を3月2日から22日まで開きました。条例の制定や改正、平成24年度予算などを慎重に審議した結果、全会一致あるいは賛成多数で可決しました。総務産業常任委員会を主体とした文教厚生常任委員会との連合審査会の審議内容については、4ページの特集で詳しくお伝えします。

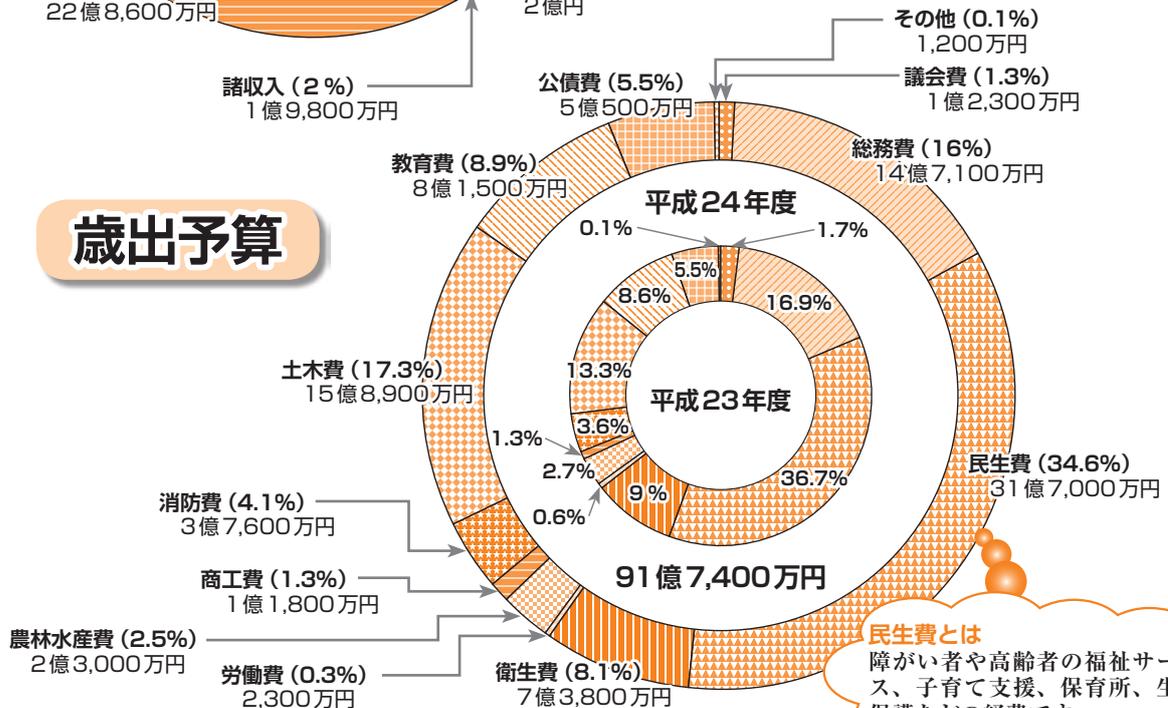
歳入予算



自主財源 41.7%
町が自主的に収入できる財源です。

依存財源 58.3%
国や県の意思によって定められた額を交付される財源です。

歳出予算



民生費とは
障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護などの経費です。

町債 町が事業を行うために借りるお金
 国庫・県支出金 町のサービスに必要なお金の一部または全部について国や県から受け取るお金

【会計別予算額】

区分	平成24年度 当初予算	平成23年度 当初予算	比較	対前年比	
一般会計	91億7,400万円	85億5,000万円	6億2,400万円	7.20%	
特別会計	国民健康保険	38億8,500万円	37億9,500万円	9,000万円	2.30%
	後期高齢者医療	5億700万円	4億7,900万円	2,800万円	5.80%
	住宅新築資金	78万円	78万円	0円	0%
公営	水道事業	4億9,100万円	4億8,100万円	1,000万円	2.04%
	下水道事業	7億4,200万円	7億5,600万円	△1,400万円	△1.8%
合計	147億9,978万円	140億6,178万円	7億3,800万円	1.05%	

平成24年度歳出予算の特色

総務費

- ① 定住促進対策事業（空き家バンク） 563千円
- ② 町制50周年記念事業 136千円
- ③ サンリーアイ管理運営費 868千円
- ④ 庁舎等施設整備事業 022千円

民生費

- ① 社会福祉協議会補助金 571千円
- ② 介護予防サービス事業 087千円
- ③ 自立支援サービス事業 858千円
- ④ 包括的支援事業 249千円
- ⑤ 子ども手当給付 486千円
- ⑥ 子ども医療事業 715千円

衛生費

- ① 乳幼児等感染予防事業 151千円
- ② 環境関連計画策定事業 258千円
- ③ 母子健康づくり支援事業 409千円
- ④ ごみ減量化・再資源化事業 167千円

農林水産費

- ① 有害鳥獣駆除事業 813千円
- ② 荒廃森林再生事業 322千円
- ③ 漁業振興対策事業 600千円

商工費

- ① 中心市街地活性化事業（事業化検討業務委託） 528千円
- ② 不況対策推進事業（プレミアム商品券） 000千円
- ③ 商工会活性化事業 030千円

土木費

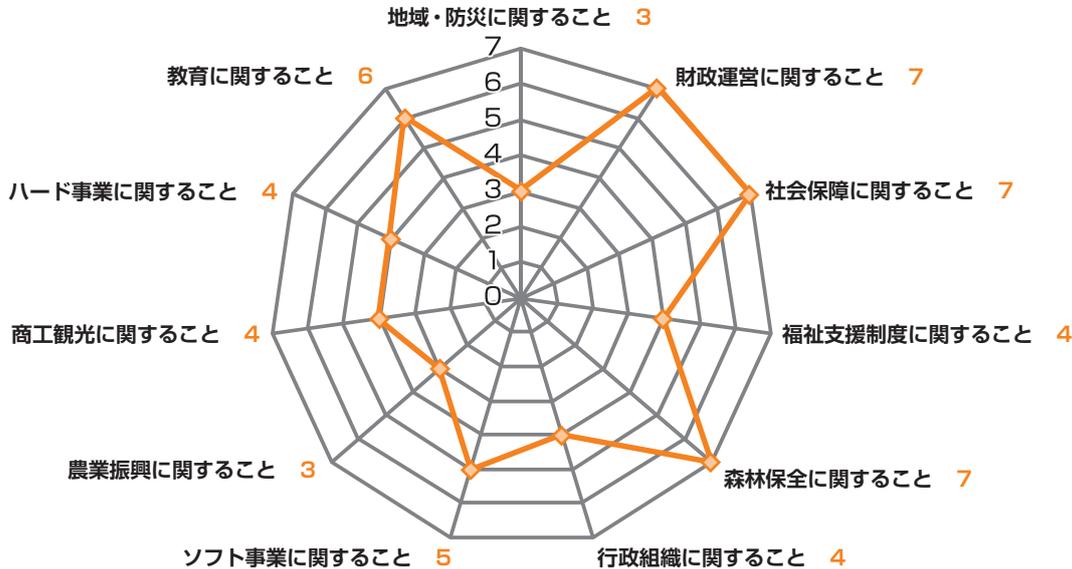
- ① 町道改良事業 496千円
- ② 排水路改良事業 300千円
- ③ JR海老津駅南側道路等整備事業 100千円
- ④ 公共交通体系整備事業 828千円

教育費

- ① 小中学校耐震化事業 200千円
- ② 小学校施設整備事業 665千円
- ③ 中学校施設整備事業 300千円
- ④ 自治公民館活動支援事業 104千円

連 合 審 査 会

質疑の概要 (54件)



質疑の一部

- 一般会計予算は総額91億7千万円と大きくなっているが、今後の財政負担の影響について
- 防災計画の見直しを計画されているが、そのアウトラインについて
- 老人福祉計画や障害福祉計画の初年度にあたるが、新たな取り組みや事業について
- 竹林対策・松枯れ対策など荒廃森林対策事業の取り組みや国に対する要望等について
- JR海老津駅南側道路等整備事業の具体的な事業説明について
- 中心市街地活性化委託料の概要と、今後の予定とコンセプトの方向性について
- 鳥獣被害とその対策・鳥獣処理施設の設置主体や運営主体と負担金の根拠について
- 町民との協働の考え方や、職員の意識改革への取り組みについて
- 環境ビジョンの見直しが計画されているが、その策定方針について
- 学級規模35人学級、就学援助、加配教員について

平成24年第1回岡垣町議会定例会において審議し、可決した条例等の議案は次の通りです。

条例・規約改正

- 附属機関の設置条例の一部を改正する条例
- 税条例の一部改正
- 国民健康保険税条例の一部改正
- 学童保育所の設置・管理条例の一部を改正する条例
- 町営住宅設置・管理条例の一部を改正する条例
- 公営企業の設置等条例の一部を改正する条例
- 公民館の設置・管理条例の一部を改正する条例
- 遠賀・中間地域広域行政事務組合規約の一部変更

平成23年度補正予算

- 一般会計補正予算
- 国民健康保険事業特別会計補正予算
- 後期高齢者医療特別会計補正予算
- 水道事業会計補正予算
- 下水道事業会計補正予算

請願・意見書

- 精神障害者の就労支援の充実を求める請願書
- 「子ども・子育て新システム」に関する意見書
- 防風保安林の松枯れ対策に関する意見書

※採決の結果は8ページをご覧ください。

反対

西田 陽子 議員

新年度一般会計予算は91億7千4百万円で、昨年の85億5千万円に対し、7.3%増の大型予算である。その内7億3千万円がJR海老津駅南開発に充てられている。22年度からのこの事業の、町の借金は現在3億7千万円、基金も取り崩している。一番の問題は費用対効果の具体的な説明責任が果たされていないことだ。

また、46mの地下自由通路（8億円）の防犯面の懸念が払しょくできない。総額21億5千万円の工事で、27年まで続く。

評価できる他の事業も多いが、この事業は後進につけを残しかねない。

下川路 勲 議員

町長は、集客、定住人口の増加、税収確保を期してJR海老津駅南側再開発事業を掲げ、登山道整備及び公園化、団地造成を計画し、国庫補助金を含む約7億円の予算を計上しているが、町内に約4百の空き家があり、かつての新興住宅地で高齢化が進む現状から見て、その事業には不安を覚える。また、駅南側自由道路造成による渋滞緩和と利便性推進計画は、多数の皆様の立ち退きが前提ゆえ、懐疑的にならざるを得ない。その一方で、町長の公約・駅前商店街の活性化は遅々として進んでいない。以上の点を、反対討論として申し述べる。

平山 弘 議員

民主党政権の「社会保障と税の一体改革」によって、年金など収入は減り、税金や保険料は上がり、町民の負担が大きくなる実態をしっかりと認識すべきである。

障害者、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌等ワクチンの無料予防接種の継続、小中学校の耐震強化事業も評価するが、町長の「選択と集中」は、民間企業の経営手法で、お年寄りや低所得者、障害者など社会的弱者への負担と住民負担が懸念される。

総額21億5千万円もの駅南道路等事業については、他にすることがあるのではないかなど、反対の声も大きくあり見直すべきである。

広渡 輝男 議員

平成24年度一般会計予算は町債9億8百万円と予算のほぼ1割の借入れ、基金4億2千9百万円の取り崩し、繰越金2億円と厳しい予算の中で、社会保障関係予算の確保などは評価するが、JR海老津駅南側道路等予算7億3千3百万円が計上されている。全体事業費、総額21億5千万円の計画の内、駅南側から現在の北側広場を繋ぐだけの地下自由通路に8億円超を投入する計画である。海老津駅ホームへの乗降はできないばかりか駅南開発が不透明な中で、地下自由通路の費用対効果は、大いに疑問である。地下自由通路の計画の大幅な見直しを求める立場から反対の討論とする。



賛成

神崎 宣昭 議員

次の3点の理由で賛成する。

1. 今後の町の発展を目指す積極的に事業に取り組まれる事、JR海老津駅南開発への取り組み、空き家バンクの構築、環境ビジョンの策定など。
2. 安全安心まちづくりの取り組み。地域防災計画の見直し、緊急防災無線の増設、駅周辺防犯カメラの設置、全小中学校の耐震診断完了等。
3. きめ細やかな住民サービスの実施。コミュニティバスの車両買替、訪問入浴サービスの実施、中学生までの入院費自己負担無料の拡大などを評価し、第5次総合計画をマニフェストとして、町長以下全職員が一体となってまちづくりに取り組みまれることを申し上げ、賛成討論とする。

西 美千代 議員

高齢化社会を迎える中、地域で安心して暮らしていくための施策及び子育て施策は評価できる。特に地域包括支援センターが岡垣町の高齢者福祉、障害者福祉に対する情報の集約と発信の拠点になるものと期待する。

しかし、JR海老津駅南側道路等整備事業費には今年度7億3千3百万円が計上されている。

国の予算審議が混迷を極める中、臨時債に5億円、建設債に4億8百万円が充てられている。地方交付税で一定の額が補填をされているとはいえ、借金を後世に残さないためにも、JR海老津駅南側開発には慎重に取り組みむことを、意見として付け加える。

横山 貴子 議員

依存財源の収入に大きく左右される財政状況のなか、町の財政運営は益々厳しくなっていることは間違いない。自主財源を確保できる環境を作ることが大きな課題である。

第5次総合計画のJR海老津駅南側開発は、町の将来に希望の持てる事業であるとともに、駅前の朝夕の車の往來の緩和、白谷踏切の交通緩和、宝から白谷・戸切の発展性、町全体の更なる発展につながるものと確信する。

折しも町制施行50周年の佳節を迎える本年度。これを契機として第5次総合計画に掲げる将来像の実現に向け発展性を願う、希望ある事業が盛り込まれた予算編成を評価する。

太田 強 議員

歳入面では、交付税の振替措置となる臨時財政対策債が5億円、他にも国庫支出金や国庫補助金が約8億円計上されて財源の手当がなされている。歳出面では、第五次総合計画に掲げる基本理念の基に岡垣町の将来像である「自然を守り活かし輝くまち」「みんなが安全安心して暮らせるまち」「地域を愛し心豊かな人が育つまち」の実現の為に各種施策が盛り込まれていると判断する。

環境基本条例の制定や地域防災計画の見直しや高齢者福祉計画の策定、各小中学校の体育館や校舎の耐震診断など町民が要望している課題が十分盛り込まれていると思う。



賛成

安部 弘彦 議員

平成23年度に着工した「町道海老津・白谷線道路」整備は、「JR海老津駅周辺環境の整備」に係る事業で、30年以上前から東部地域住民などが、熱望した悲願の事業だ。また、本年10月1日に町制50周年を迎える事業の一環とした「金比羅山麓の公園化」なども、併せて平成27年度完成としている。

「まちづくりにおいて、攻めと守りは車の両輪である」と考える。岡垣町においては宮内町長のもと、高齢者や障害者への福祉サービスは他市町村と比べても高い水準を保っており、小中学校の耐震化診断は24年度予算をもって全て終える等、今やらなければならぬ施策（守りの部分）についてはかなり評価できる。

第5次総合計画の実現にむけて、福祉予算は、「地域包括支援センター」の設置、成年後見制度の導入、就労支援や自立支援サービス事業、訪問入浴サービスの提供、入院費自己負担無料化を中学生まで拡大、感染症予防のワクチン接種、妊産婦検診や子宮頸がんワクチン接種の公費負担の措置を掲げている。

町の財政力強化のため、町南開発について平成16年に海老津4区の要望書は、宝白谷間に道路を通すことであったが、受け入れなかった。宮内町長は地域住民の要望を尊重し、公約により実現している。今後企業誘致、宅地造成等、期待できる。又駅周辺の交通渋滞の緩和、そして地下通路の横には、交番を建設する予定であり、安全性も確保できる、早期実現を期待する。

少子化対策では中学生まで入院治療費、妊婦の検診完全無料化など、評価している。今年には町制50周年記念で各種のイベントが予定されている、更に元気になる岡垣町の政策に期待する。

中村 好伸 議員

小野 元次 議員

市津 広海 議員



町政を問う 一般質問

神崎

生涯学習の推進についての取り組み・施策は

町長

生涯学習の推進は県内でも先進的な取り組みを進めてきた



神崎 宣昭 議員

神崎 生涯学習とは、自由に自分にあつた手段や方法で生涯にわたり、主体的に続けることで、生活のあらゆる活動の中でも学習機会はあると思います。ひとつづくり、人材育成は町の宝、豊富な人材は町の財産と思います。人材育成に向けた生涯学習は、どのようになされ、どのような形でその個人・団体等を把握し、学習成果が発揮されるような方策を進めていますか。

町長 平成6年に「ひとつづくりまちづくり推進計画」を策定し生涯学習に取り組む姿勢を打ち出しました。「イメージづくり」「職員の意識革命」「ひとつづくり」を3本の柱とし



波津の新たな観光へ“サーフィン”

しその中で、出前講座、公民館講座など開催して広く学習の機会を提供しています。
教育長 発表の場としては、町民文化祭への出演や作品の展示や人財百科への登録を推進しています。
○観光資源の推進について

神崎 高齢化が進む岡垣町の中で、吉木・波津海岸は大勢のサーフィンをする若者で活気に満ちています。この機会

を逃す術はありません。利便性を図り、受け入れ態勢を充実して、PRの向上に努めてはどうですか。

町長 第5次総合計画では、「自然の恵みを守り活かし輝くまち」を掲げ、実現に向けた施策として、まちの誇れる資源をPRし、観光を推進しています。サーフィンは岡垣

太田

まちづくりの課題への取り組みの気持で臨むのか

町長

この一年を任期における仕上げの年として、全力を尽くす



太田 強 議員

太田 町長のマニフェストである「福祉の充実」「教育環境の整備」「駅南開発の促進」「行政の無駄を省く」「地場産業の育成」の「五つの約束」の進捗状況はどうですか。

町長 私は町長就任当初から「元気なまち 岡垣」を

町の自然を活かしたスポーツであり、観光資源として十分期待できます。一方、一部のサーファーと地元住民とのトラブルも発生しているようです。地元住民をはじめとする関係者や、日本サーフィン連盟関係者等の意見を聞きながら対応していきます。

現することを基本姿勢として「五つの約束」を示しまちづくりを進めてきましたが、様々な施策を通して一定の成果を上げることが出来たと考えています。これは、町民・議員・職員が一体となって取り組んだ「人の力の結集」だと感謝しています。

太田 町長に就任して3年間でマニフェストを全て達成することは、難しいと思います

が、やり残した課題を具体的に



多くの車が行き交う白谷踏切

町長 「情報プラザの用途見直し」、「農商連携による特産品の開発」、「中心市街地活性化」、「文化財資料保存展示施設の整備」などです。

太田 町長は、残された課題に対して、どのような気持ちで臨んでいくのか、まちづくりへの思いを述べてください。

町長 先人が守り培ってきた、自然、歴史、文化、人の交流など岡垣町の素晴らしい魅力を維持、発展させ、次世代を担う子どもたちに引き継ぐ事が私の責務であると考えています。そのため、この1年を任期における仕上げの年として、全力を尽くします。

横山

予防接種へ公費助成の拡充を

町長

検討していく課題と考えている



横山 貴子 議員

への公費助成を望みます。

町長 国の今後の対応方針や財政状況、さらには他の自治体の取り組み等を見ながら検討していく課題と考えます。

横山 胃がん検診にピロリ菌検診導入の取り組みができませんか。

横山 治療重視の医療から予防重視の医療が大事と考えますが、町長の考えを伺います。

町長 町の健康づくりは病気にかかりにくい生活習慣を定着させるといふ1次予防に重点をおいたものです。予防接種の充実等により病気を未然に防ぐこと、早期発見・早期治療のために健康診査を充実させること等、予防の視点を重視しています。

横山 町の元氣。それは何よりも町民の元氣・健康が第一だと思います。そこで予防重視の医療の拡充として、子供のインフルエンザ予防接種と、高齢者への肺炎球菌ワクチン



健康がいちばんだよね

横山 ○介護者への支援について要介護認定を受けてい

町長 国が前向きに検討している課題と思われまので、国の動きや全国的な状況等を見ながら検討していく課題と考えています。

る方は高齢化社会の中で、今後増加することが予想されます。厚生労働省も普及を図っている「介護マーク」を、ぜひ、岡垣町にでも活用して頂けないでしょうか。

平山

岡中・海老津小のグラウンド整備についての考えは

町長

課題としてとらえている
岡中は24年度で一部予算化している

平山 弘 議員

町長 地域住民への啓発の一つと考えますが、全国的な広がりを見極めた上で対処していきます。

*その他に、公共・学校施設のトイレ整備について質問。

て雨道もできています。

十分に体育授業が受けられるようにして頂きたい。

町長 側溝をやりかえればスタンド側の方は解消出来ると考えています。

平山 雨が降ると、2〜3日は使えない状態です。

早急に^{そしょう}粗上^{そしょう}上げて進めていただきたいが。

町長 耐震工事等が全て終われば次の段階でグラウンドなどの事も検討していきたいと思っています。効果的な手法の検討も必要です。

平山 ○武道授業の安全対策について
町長 岡垣町の中学校では、4月から1・2年生の体育で



海老津小グラウンド

剣道とダンスが必修化になります。

剣道での事故の発生が危惧されていますが、指導教員の資格や安全対策はどうなっていますか。

教育長 正式に段を持つている先生もいれば、基本的動作などを教えるための実技指導講習会に参加した先生もいます。また、安全性の確保のため補助員として外部講師の検討も考えています。

平山 事故が起きた時の緊急体制は検討されていますか。

教育長 安全指針に基づき関係医療機関とも連携を図りながら指導を行うこととなります。

広渡

まちづくり(経営) 基盤の確立を求
める

町長 町を取り巻く環境の変化に柔軟に
対応していく



広渡 輝男 議員

広渡 地域のことは地域でき
める「地域主権」が進んでい
ます。経営は「人・もの・金」
のバランスが大事です。人材
の確保育成について尋ねま
す。

町長 職員や組織目標を定
め、業務の問題解決や改善を
図るため、更に計画的な人材
育成に取り組みます。

広渡 混沌とする政治経済の
中、健全財政を維持するた
め、今後10年間の財政計画の
策定が必要と思いますが。

町長 第5次総合計画を進め
ていく上で、財政の見通しを
立てることは重要であり、中
長期の財政計画を策定したい
と考えます。

広渡 協働のまちづくりを進
めるには、町民の権利及び責
務、議会及び議員、町長その
他の執行機関の役割及び責務
を定めた、「自治体の憲法」と
いわれるまちづくり基本条例
の制定について尋ねます。

町長 まちづくり基本条例は
行政主導ではなく、町全体の
機運の高まりと住民参画、政
策過程を経る必要から、入念
な調査研究と準備を進めま
す。

広渡 民間資源の活用の視点
から、町内の「空き家住宅」や、



なんとかしなくては…

三里松原の保全から松くい虫
被害の「クログマツ」の有効活
用について尋ねます。

町長 定住安定策の一つとし
て「空き家バンク事業」に取
り組みます。松枯れの伐倒木
対策は松枯れ被害を減少さ
せることが優先課題と考えま

西田

不祥事の住民への説明責任は

町長 基準を設けて説明する



西田 陽子 議員

す。

広渡 海老津駅前賑わいを
取り戻すため、改正法に基
づく基本計画の策定を求め
ます。

町長 社会资本整備交付金を
視野に事業予定区域内にま
ちづくり計画を進めます。

当課長も職務上の注意や指導
を、行っていたにもかかわらず、
繰り返し発生したことは
真摯に受け止め深く反省しま
す。

多くの職員は真面目に業務
に取り組んでおり、職務怠慢
は本人の問題が大きいと思
います。

西田 当該臨時職員の使用し
ていた公用車の運行日誌はな
く、走行距離も不明、作業日
誌も杜撰で指導の跡がありま
せん。

町長 二人体制で実施してい
た。不備があれば、職員が報

告すべきであるし、義務を
怠っていたと考えます。

西田 もともと国の補助金を
使い実施されていたこの事業
を、1月16日以降は町の一般
財源を使っています。議会に
事前説明もなく、議会軽視で
は。

町長 議会で認められた予算
を私の権限で執行していま
す。
〇いこいの里入浴施設存続に
ついて

西田 いこいの里入浴施設
維持のために3千万円かかる
と公表していますが、住民の
様々な取り組みが一定、効を
奏しており、他の公的施設の
在り方との整合性で考えるべ
きです。

町長 利用の多寡が今後の動
向を決定します。PRにも努
めていきます。



小野

「住みたい町・岡垣」への提言！
文教厚生部の郷づくり

町長

企業誘致を含め、まずは情報収集をして、PRしていく



小野 元次 議員

小野 岡垣町が持つ、自然の恵みの魅力を十分に活かした、居住環境などの良さや、子ども達への「教育環境の整備」が重要な政策課題です。確かな基礎学力の習得、豊かな心の育成、郷土の学習など、個性を伸ばす特色ある教育を行うことは、今後の住みたい町への選択的要素となり、定住世帯や人口増への重要な役割を持っていると考えます。

町長 第5次総合計画の実現に向け、教育分野では「子育て支援プロジェクト」による家庭・地域・学校が一体となった岡垣らしさのある教育環境づくりを進め、定住環境を整え

ます。

小野 高齢化率は26%を超え、町と社会福祉協議会が、緊密な福祉サービスの経営管理を行い、遠賀中間医師会病院との医療検診の委託や、既存の高齢者福祉施設との連携、地域の福祉活動の推進が、安心して快適に暮せる町として、魅力になると考えますが。



荒平神社(上畑)

町長 第5次総合計画の実現に向け、高齢者福祉分野で

は、地域包括ケアシステムの構築と「安全安心プロジェクト」による、地域福祉を支える自治区や校区コミュニティ運営協議会、小地域福祉ネットワーク、自主防災組織などの組織化・ネットワーク化を進めます。

小野 JR海老津駅南側開発事業は、学校法人や看護・介護

安部

安心・安全のまちづくり「高齢者福祉と日常生活支援」対策について

町長

日常生活へ困難がある人への対応について、様々な視点から検討していく



安部 弘彦 議員

安部 昨年7月に老人クラブ寿会連合会がアンケートを実施した結果をふまえて、自治

区長会会長・民生児童委員会長・老人クラブ寿会連合会会長など、関係役員さんで話し合いを重ね、業者選定の考え

学校と高齢者福祉施設の併用誘致を行い、自然を生かした「文教厚生部の郷づくり」の特色地域を構築してはいかがでしょうか。

町長 現在、JR海老津駅南側道路整備事業は着手してはいますが、駅南側開発事業については、企業誘致等を含め十分に検討をしていきます。

課と数回の相談打合せを実施し、今回「やつぱあ〜岡垣」が試験的に鍋田公民館・高陽台団地簡易郵便局斜め前の農協駐車場・西高陽公民館の3箇所で、3月5日から移動販売車による新鮮野菜の販売を始めました。

岡垣町として、少子高齢化が加速する中、産業振興などが資源確保も考慮した経営対策が急務と考えますが。

町長 高齢者福祉計画策定にあたって行った、住民アン



どれにしようかな(移動販売開始)

ケート調査や団体ヒアリング、住民ワークショップにおいても、高齢者が困っていることとして買い物や通院が不便という声が多くあがっていました。買い物弱者という地域における問題解決のため、老人クラブ寿会連合会が中心となり、地域の関係団体と連携し、移動販売車を使った買い物支援サービスは、まさに互助の取り組みの一つであると感謝しています。町としても、この事業を支援するとともに、課題や効果などを検証しながら、日常生活に困難がある人への対応について、様々な視点から検討していきます。

町議会50年

②庁舎移転

50年前、岡垣町役場が吉木の現中部保育所にあったことを話すと、驚く人が増えました。

「等、使用限界を迎えており、今後の町の発展性を考えると庁舎の新築は大きな課題となつて来ていた。」

2 経過

庁舎移転について当時の議事録（永久保存）・「岡垣町史」を参考にしながら振り返ってみました。（現在地に昭和44年7月着工・昭和45年4月1日開設）

昭和39年11月27日に議案46号「役場庁舎研究委員選任について」議決。

1 その背景

昭和40年、年頭の「町報」

吉木の旧庁舎は、明治40年に、旧村合併前の岡縣村役場の古材を使用して建てられたもので、老朽化が進み、「雨漏り」「危険建物」「梁が落ち

町長挨拶に「役場庁舎の新築」がある。その必要を誰もが感じながら、既存庁舎周辺地域選出議員の思惑、宅地開発が進もうとしていた東部地域



今も残る旧役場（現中部保育所）時代の境のレンガ塀

選出議員の、「新庁舎を東部に」の思惑がからみ、議会・執行部の苦悶の後が当事の議事録からうかがえる。

この後、庁舎建築の予算が提案・可決され、議論はされるが位置について結論を得られなかったのは、新庁舎からはずれぬ地区への配慮からで、任期満了退職の迫った俵口町政での庁舎位置決定・新築をあきらめ（俵口町長退任前の7月26日）議会では、庁舎位置について、町長の私的見解が表明された。新町長のもとでの進展に期待する議員心理が働いたものと思われる。

昭和40年8月就任された辻町長の下、昭和41年6月29日に、庁舎位置を現中央公民館敷地に変更する議案36号が提案された。昭和41年7月14日、東部選出議員と中西部選出議員がそれぞれ別室で協議するなど、「地元選出」意識が全面に出された結果として、無記名の投票で9対9可否同数、否決された。

議員改選後の昭和42年6月議会で、辻町長から、位置については学者・権威者に研究してもらおう意向が議会に打診され、自治省とも相談の上、3人の委員による「役場庁舎建設位置の選定委員会」設置の関連2議案が6月30日に提案され、議会はこの委員会の

答申に従うとの「申し合わせ」条件付で、出席議員15名全員起立で可決した。

昭和42年10月2日議会で「選定委員会」からの答申が報告され、中部地区区長

西部地区区長等から反対請願3件がなされたなか、10月25日、議事録に正確を期すためテーブルコーダーによる録音が求められたり、「危険庁舎」内議事堂には人数制限46名を超える関係者が会した。午後7時無記名投票による議決の結果、14対4で現庁舎位置に変更する議案第74号は可決された。

昭和42年7月7日の議事録



今も残る防音用二重窓（現庁舎南側）

3 議事録から余話

建設工事入札が延期されたり、設計変更が重なったり、工事関係予算が増えていった経過を見ると、当時の岡垣町が射撃場を抱え、航空自衛隊芦屋基地の一部に町域を持つているところから、公共施設の整備に、防衛庁の民生安定の補助金を財源としていたことがうかがえる。

端的な例が、当事建設され

た既存公共施設の防音工事（二重窓）でその跡をいまだに確認できる。同時に日本の高度経済成長で、庁舎建設予算上、賃金増・物価高で増大化の影響を受けたと考えられる。

- 1 新庁舎建築後の役場支所の建設
 - 2 町民会館の建設
 - 3 保育所の拡張建設
- の確認事項はその後
- 昭和47年 中央公民館
 - 昭和49年 東部公民館
 - 昭和50年 中部保育所
 - 昭和51年 町民体育館
 - 昭和53年 西部公民館
- というかたちで、事業が進められたと言える。

委員会活動（視察）レポート

総務産業常任委員会

総務産業常任委員会では、昨年3月11日に発生した東日本大震災を教訓に、「安全安心の町づくり」へ向けて、防災は今後どうあるべきか、調査研究を行ってきました。まず兵庫県の加古川市を視察し、防災計画や取り組み状況などを調査を行いました。その中で、岡垣町の現状や課題を把握し、その対策について取りまとめを行いました。その結果、「防災とは、身体で覚え、知識を習得するものである」、「自分の命は自分で守るという意識を持つことが大切である」という観点から、次のような防災対策をまとめました。

- ①地域防災計画の見直しと、ハザードマップの作成
- ②避難経路の明確化
- ③防災態勢・自主防災組織の強化
- ④住民への意識付けの推進
- ⑤防災チームづくり
- ⑥防災無線システム・情報のIT化
- ⑦備蓄資材の整備
- ⑧要援護者対策の支援システムづくり

以上のような調査検討結果をもとに、町長はじめ関係課長出席のもと、総務産業常任委員会を開催し、地域防災計画の見直しに合わせて具体的な取り組みを行うよう提言を致しました。古の言葉に、「天災は忘れた頃にやってくる」との箴言しごんがあります。有事の際に備えて、全員参画で当たる組織づくりが最も大切です。



岡垣町の歴史、文化を継承し、住みよい町・住み続けたい町づくりのために、活かしていくことは町の課題の一つです。町議会が催した住民懇談会では、3会場とも、歴史・民俗資料の展示・保存についての質問、要望が出されました。

議会として現状を把握し、関係者にお答えしました。あわせて文教厚生常任委員会は、郡内3町と鞍手町、宗像市を訪問して歴史・民俗資料館を視察研修をしてきました。岡垣町の歴史・民俗資料はほとんど倉庫に眠った状態です。当然虫食いや、劣化が進みます。マイクロフィルム化など対策がされていますが、まちづくりのためには展示保存の在り方の方向性を町民の皆さんの参画のもとで見出していくことが重要なことだと思っています。

文教厚生常任委員会



議会の動き

12月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議題
1月 6日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
1月12日	文教厚生	教育問題(郡内資料館視察)
1月12日	総務産業	防災対策・産業振興
1月13日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
1月17日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
1月25日	総務産業	防災対策・産業振興(商工会懇談会)
2月 1日	研修会	議長・副議長研修会
2月 7日	総務産業	防災対策・産業振興(商工会懇談会)
2月 8日	文教厚生	教育問題(鞍手・宗像資料館視察)
2月16日	全員協議会	地域主権改革・コミュニティバス・松枯れ対策
2月16日	総務産業	防災対策・産業振興
2月21日	議運	3月定例会・議長からの諮問
2月24日	文教厚生	教育問題
3月 2日	本会議	上程
3月 2日	議運	議会運営について(資料請求のあり方)
3月 2日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
3月 5日	連合審査会	23年度補正
3月 5日	本会議	23年度補正・契約
3月 6日	一般質問	一般質問2人
3月 6日	議運	意見書・諮問
3月 7日	一般質問	一般質問4人
3月 8日	一般質問	一般質問2人
3月 9日	総務産業	付託議案・防災対策・諮問
3月12日	文教厚生	付託議案・諮問
3月13日	全員協議会	町制50周年記念事業他
3月14日	連合審査会	付託議案審査
3月15日	連合審査会	付託議案審査
3月16日	連合審査会	付託議案審査
3月19日	連合審査会	付託議案審査
3月19日	議運	発議の取り扱いについて
3月22日	本会議	議決・発議
3月22日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
3月22日	議運	議会運営について
3月28日	議会広報	議会だよりおかがきの編集

商工会との懇談会



中心市街地の活性化について意見交換しました。

町内文化財視察



中央公民館等に保管されている文化財について調査しました。

祝卒業

岡垣中学校・岡垣東中学校
2校あわせて336名が旅
立ちました。



屋根より高く
元気にはばたけ
岡垣っ子



会議録を閲覧してみませんか

岡垣町議会 会議録検索システム

- ◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

祝入学

町内5小学校あわせて
299名のピッカピッカの
1年生が誕生しました。



どうぞ
傍聴席へ

次の定例会は

6月6日(水)
開会の予定

編集後記

西田 陽子

3・11以降、防災対策の一步は、我が家が川に近いのか、傍に崖はあるか、半径200M以内の地形や家並みの確認。そして、古老から災害の歴史を聞き学ぶ。つまり、自分の地域を知るという当たり前のことに気づかされたのだった。また、住民力の強弱が復旧の明暗を分けたとも聞く。岡垣町の住民力がさらに高まるように、限られた予算の使い道を、3月議会は審議した。その良否は納税者である町民の皆さんに委ねられている。少子高齢化時代のまちづくりは課題が山積みしている。安心のまちづくりに向けて町民生活の懸け橋になりたい。

発行責任者

議長 曾宮良壽
議会広報特別委員会

委員長 廣渡輝男
副委員長 西美千代
委員 横山貴子
委員 西田陽子
委員 中村好伸
委員 神崎宣昭